

平成 29 年 度

福岡女子大学大学院 人間環境科学研究科修士課程案内

(付) 平成 29 年度福岡女子大学大学院
人間環境科学研究科修士課程学生募集要項

公立大学法人

福岡女子大学

〒813-8529 福岡市東区香住ヶ丘 1 丁目 1 番 1 号

電話 (092) 661-2411 (代表)

URL <http://www.fwu.ac.jp/>

目 次

1	福岡女子大学の沿革	1
2	福岡女子大学大学院人間環境科学研究科（修士課程）の特色とアドミッションポリシー	1
3	教育課程の編成	2
4	教育職員免許状	3
5	社会人の入学について	4
6	自己推薦選抜方式について	4
7	授業科目、担当者及び単位数	5
8	研究内容	7
9	交通案内図	10

(付)	(1)	平成29年度福岡女子大学大学院人間環境科学研究科修士課程学生募集要項
	(2)	入学願書・受験票
	(3)	研究希望調書
	(4)	受験許可書
	(5)	2 出願資格(1)-⑨による入学者選抜出願資格認定申請書
	(6)	入学者選抜出願資格認定申請書（自己推薦選抜用）
	(7)	入学考査料振込依頼書

1 福岡女子大学の沿革

福岡女子大学の前身は、大正12年（1923年）にわが国最初の公立女子専門学校として設置された福岡県女子専門学校（文科、家政科）である。昭和25年（1950年）の学制改革に応じて福岡女子大学となり、当初は学芸学部（国文学科、英文学科、生活科学科）のみの単科大学として発足したが、昭和29年（1954年）に文学部（国文学科、英文学科）と家政学部（家政学科、家庭理学科）の2学部構成となった。平成5年（1993年）に、大学院文学研究科修士課程（国文学専攻、英文学専攻）が開設され、平成9年（1997年）にはさらに英文学専攻の博士後期課程が設置された。一方、家政学部は平成7年（1995年）に人間環境学部（環境理学科、栄養健康科学科、生活環境学科）に改組された後、平成12年（2000年）に、大学院人間環境学研究科修士課程（環境理学専攻、栄養健康科学専攻、生活環境学専攻）が設置された。

平成18年（2006年）より公立大学法人福岡女子大学となってさらに大学改革が推進され、平成23年（2011年）には新たに、国際化、多様化する社会で幅広く活躍できる女性リーダーの育成を基本理念とする1学部3学科体制の国際文理学部（国際教養学科、環境科学科、食・健康学科）が設置された。この学部理念のもとに、既設の人間環境学研究科を充実・発展させた新たな専門教育研究機関としての大学院人間環境科学研究科が平成27年（2015年）4月に開設された。

このように本学は開学以来93年の歴史と伝統をもち、その間に送り出した卒業生・大学院修了生は各方面で活躍し、広く社会に貢献している。

2 福岡女子大学大学院人間環境科学研究科（修士課程）の特色とアドミッションポリシー

人間環境科学研究科人間環境科学専攻は、健康科学・生活科学・理学・工学・社会科学といった学問領域を統合化することによって、健康科学と環境科学及びその基盤である自然科学の観点から、「健康な生活を支える環境調和型社会づくり」を目指す「人間環境科学」の発展に寄与する。そのため、栄養健康科学領域、環境マネジメント領域、環境自然科学領域を設置し、高度な研究能力と知識を持ち、創造性に富む人材の育成を教育理念としている。

研究科・専攻の学生には、教員と学生の距離が近い少人数教育の利点を生かして実験・実習・フィールドワークを自主的に実施し、大学院での学びを積極的に社会に還元することが求められる。したがって、学生には下記のような能力・意欲を期待する。

- (1) 健康・環境分野に関心が深く、自らを高める向上心に満ち、かつ知的好奇心や創造性に富んでいること
- (2) 研究・実験に対し、積極的かつ主体的に取り組む姿勢を持っていること
- (3) 化学や生物学を中心とする一般的な自然科学の知識を有していること
- (4) 健康環境・自然環境・生活環境に関わる現実的諸問題に関心が高いこと
- (5) 研究成果を健康な生活を支える環境調和型社会の創生のために社会に提案・還元する意欲を有すること

領域ごとのアドミッション・ポリシーは以下のとおりである。

●環境自然科学領域

「人間環境科学」が対象とする人（ヒト）をめぐる環境に関連した複雑で多岐にわたる現象を、自然科学を基に学際融合的に教育研究し、次世代を担う人材を養成することを目的としている。分子・細胞・個体やそれらを結びつけるエネルギーや物質循環といった自然環境について、物質科学と生命科学の視点から実験・理論の研究及び教育を行う。本領域では、自然科学分野に関心が深く、自らを高める向上心に満ち、かつ知的好奇心や創造性に富んだ人材を期待する。

●栄養健康科学領域

食と健康に関する基礎研究から応用開発や臨床対応にいたる領域を対象とし、健全な食生活を構築するとともに、生活習慣病の成因や予防、食の安全性などの問題を解析、解決することを目的としている。そのた

め食と栄養に関する高度専門職業人として、臨床栄養師、食品企業の研究者や開発者、教育機関における教育者・研究者を育成する。学生には実験・調査等の研究活動に対し、積極的かつ主体的に取り組む姿勢を持つことを求める。すなわち、食と健康との関連性やその探究について特に高い関心を持ち、諸問題の成因や解決に向けた研究への取り組みや、その成果を社会に提案・還元する意欲を有する学生を求める。

●環境マネジメント領域

生活するヒトの生理、心理、行動の特性を明らかにし、ヒトと環境の相互作用について教育研究を行う。具体的には、都市・住居デザインの提案・設計、人間の心理・生理機能や行動様式の解析ならびにそれに基づく生活空間の設計、ユニバーサルデザインに基づいた都市・空間の評価と設計、環境変動に伴うヒトの行動様式などへの影響に関するデータ収集・分析、などを行う。各研究の主眼は、人間と環境の境界領域の本質を人間及び環境の視点から科学的・工学的に捉えた上で、我々の生活を向上させるための境界領域の改良方策を具体的に提案するところにある。従って、学生には基礎となる自然科学系諸科目に習熟していること、生活環境と人間に関わる現実的諸問題に関心が高いこと、研究成果を具体的なデザインとして社会に提案・還元する意欲を有することを求める。

3 教育課程の編成

人間環境科学研究科の教育課程では、国際文理学部での全学共通科目（教養科目）と専門科目を有機的に組み上げた少人数教育によるカリキュラムの基礎の上に、広い視野に立って精深な学識を授け、専攻領域における研究能力または高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を養うことを目的としている。この目的を達成するために、教育課程の編成において、専門科目の他に、基本科目と研究科共通科目の区分を設ける（授業科目の詳細については、5～6ページ参照）。

A 基本科目（必修）： 研究科名を冠した特論・特別演習（人間環境科学特論・人間環境科学特別演習）で構成される。3領域に亘って「健康な生活を支える環境調和型社会づくり」のために必要な種々の基盤となる専門知識・方法論の必要性を認識し、かつ、それらを統合することによって、環境や社会の問題を解決に導くことができる可能性を理解する。人間環境科学特論は1年次前期、人間環境科学特別演習は1年次後期に開講する。

B 研究科共通科目（必修・選択）： 必修科目の特別研究のほかに、国内外の社会での実践で貢献できる人材育成を目指して、大学・公的機関・民間企業等での体験的学習を実施するキャリア科目（「国際研究活動」、「国際インターンシップ」、「専門職特別研修」）を設定している。これまで国際文理学部は国際的感性やコミュニケーション能力を育成するため、国外での体験学習や交流協定校との交換留学などを実施しているが、「国際研究活動」等の授業を通して、研究科レベルでも一層の国際的感性やコミュニケーション能力を身につける。

C 専門科目（選択）： 全て選択科目とし、人間環境科学研究科の教育課程の目的を踏まえて、以下のよう
に各領域の教育課程を編成している。

●環境自然科学領域

人間社会と相互に作用して生じる様々な自然環境における現象を把握し、自然及び社会の環境問題の評価、およびその評価のために必要な物質科学および生命科学的な現象解明やその解決に向けた技術的な対策を考えることのできる人材育成を目的とした教育研究を行う。具体的な教育研究内容は、下記のようなものである。

- (1) 自然環境における環境問題を調査して評価する知識・技術の習得
- (2) 環境中の化学物質の特性を理解し、環境問題を引き起こしている原因を究明し、その問題解決に必要な知識・技術の習得
- (3) 人の活動等に起因する環境変化が生命体の構造・機能や生態系にもたらす影響について分析して評

備する知識・技術の習得

●栄養健康科学領域

生活習慣病を予防・管理し健康な暮らしの実現を支援する食環境の整備を目指し、ライフスタイルの多様化に伴う様々な「食」と「健康」の諸問題を解決し、人の「健康」を維持する社会的環境を構築するために必須な基礎的、実践的知識および技術の習得を目的とした教育研究を行う。具体的な教育研究内容は、下記のようなものである。

- (1) 栄養素の摂取不足あるいは過剰摂取に起因する様々な疾病、生活習慣病のリスク増大といった「食」に起因する「健康」の諸問題を栄養学および健康科学面から取り扱うとともに、その問題解決に必要な知識・技術の習得
- (2) 人の「健康」を維持するためには、食の安全・安心の確保が必須であり、現代の食料に関する問題を評価し、その解決に必要な知識・技術の習得
- (3) 自然あるいは社会環境の変化が人の健康に及ぼす影響を評価し、その対策に必要な知識・技術の習得
- (4) 食の生産環境に影響を及ぼす「環境汚染」の現状や「国外の食料環境」に関する諸問題を、国際的な観点から把握し、その解決に必要な知識・技術の習得
- (5) 管理栄養士免許保持者を対象とした高度専門職業人養成のための教育（臨床栄養師研修等）

●環境マネジメント領域

持続可能な生活・社会環境の創生を目指し、人間の生活する社会環境の諸問題を扱うとともに、生活する人間と社会環境との相互作用（関係）を明らかにし、かつ、その社会環境が自然環境との調和を図りながら人間にとって合理的で快適なものとなるような生活・社会設計ができる人材育成を目的とした教育研究を行う。具体的な教育研究内容は、下記のようなものである。

- (1) 人の生活様式と地域や国内外の社会環境・自然環境との相互作用について把握し、人の生活環境における諸問題を評価し、その解決に必要な知識・技術の習得
- (2) 地域あるいは都市の社会環境における諸問題を把握し、環境調和型社会を目指した（空間・エネルギーなどに関連した）社会設計に必要な知識・技術の習得
- (3) 統計学、政策学及び経済学の視点から人間環境の問題を把握・評価し、環境調和型社会を目指した社会政策や環境政策を提案するために必要な知識・技術の習得

修了要件は、本課程に2年以上在学し、34単位（基本科目4単位、専門科目と研究科共通科目（特別研究を除く）から20単位以上、特別研究10単位）以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、特に優れた業績をあげた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。

4 教育職員免許状

環境自然科学領域または栄養健康科学領域を修了し、所定の科目の単位を修得した者は、次の教育職員免許状を取得することができる。

領 域 名	免 許 状 の 種 類	教 科
環 境 自 然 科 学	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	理 科
栄 養 健 康 科 学	栄養教諭専修免許状	

5 社会人の入学について

(1) 社会人の受け入れ

生涯学習の一環として、大学を卒業し企業、教育機関、官公庁、各種施設等で活躍している社会人の間で、さらに高度な学識や技術を修得するために大学院へ進学しようとする機運が高まっている。本研究科では、これに積極的に応えるために、下記の特例措置をはじめ種々の履修方法を準備している。

人間環境科学研究科では、このような向学の志を抱く社会人を受け入れるために、学力試験の専門科目の一部を免除し、主として英語と面接による選抜を行う。出願に際しては、社会人のその専門性に鑑み、入学を希望する教育研究分野について予め協議されることを推奨する。

(2) 社会人のための特例措置について

教育方法の特例措置とは、現職教員、公務員、一般企業の社員、団体・施設等の職員の社会人が、昼間に勤務しながら夜間または土曜日（授業科目によっては、社会人の夏期及び冬期休業期間中に集中で開講する場合がある。）に通学し修了することができる措置のことである。ただし、この特例の適用を受ける場合においても、原則として1年次においては昼間開講の授業を履修しなければならない。

この教育方法の特例を適用し夜間に授業を実施する場合は、月曜日から金曜日の18時から21時10分までとする。また、授業科目によっては、土曜日及び夏期・冬期休業期間中に集中で開講する場合がある。

6 自己推薦選抜方式について

学内外の優秀な資質を持つ多様な学生を受け入れることを目的として、専門科目の学力試験を課さずに、事前審査用の提出書類、面接試験による検査を行い、人間環境科学専攻での勉学と研究の適性の有無を基準に合否を判定する選抜方式を実施する。

この選抜方式は、一般選抜に先立って下記の要領で行う。

(1) 事前審査および提出書類

自己推薦選抜を希望する者は、事前審査により受験認定を行うため、14ページの募集要項「◎出願資格の事前審査について」を参照し、所定の手続きを行う。また、その際、13ページ「7 出願手続」の提出書類に加えて、本募集要項に添付している「入学者選抜出願資格認定申請書（自己推薦選抜用）」に、これまで勉強してきたことと志望動機との関連を含めた自己推薦を記載して送付する。あわせて、TOEIC・TOEFLのスコアがわかる資料があれば、その写しを添付すること。（英語の能力を測る資料とするので、できるだけ添付すること。）

(2) 受験認定

提出期間内（平成28年6月20日（月）～6月24日（金））に受け取った提出書類をもとに審査し、所定の期日（平成28年7月1日（金））までに認定の結果を本人に郵便または電話で通知する。

(3) 自己推薦選抜試験の実施と合格発表

平成28年7月9日（土）に、面接試験による自己推薦選抜試験を実施する。

合格発表は、平成28年7月15日（金）14時頃、本学正門横掲示板に掲示するとともに、合格者には本人あてに郵便で通知する。

なお、本学のホームページにおいても合格者の受験番号を掲載する。ただし、公式の合格発表については、必ず本学掲示板又は合格通知書で確認すること。電話による合否の問い合わせは一切受け付けない。

(4) 一般選抜試験との併願措置

事前審査により自己推薦選抜の認定を受けなかった者や、自己推薦選抜試験に合格しなかった者は、平成28年8月6日（土）に行われる一般選抜試験を別途手続きすることなく受験することができる。（入学料は不要）ただし、その場合においても、13ページ「7 出願手続」の書類のうち、「(1) 入学願書」のみをあらためて提出しなければならない。（出願期間は平成28年7月11日（月）～7月19日（火））

※ 秋入学の希望者には、平成28年度秋入学者向けの入学試験を実施します。

試験日 平成28年8月6日（土）

希望者は、福岡女子大学学務部教務企画班（15ページ参照）までお問い合わせください。

7 授業科目、担当者及び単位数

人間環境科学研究科 人間環境科学専攻

分野	授 業 科 目	担 当 者	単位数
専 門 領 域	無機化学特論	馬 昌珍	2
	物理化学特論	池田宜弘	2
	環境物理学特論	黒木昌一	2
	分子分光化学特論	山田 淳 (非常勤)	2
	環境自然科学特別演習 I	池田・黒木・馬	2
	環境有機化学特論	(未定)	2
	環境反応化学特論	宇都宮 聡 (非常勤)	2
	環境生物化学特論	井上浩義 (非常勤)	2
	生活材料加工学特論	藤岡祐一	2
	生活材料化学特論	吉村利夫	2
	環境自然科学特別演習 II	藤岡 (祐)・吉村	2
	細胞機能学特論	田村典明	2
	環境生理学特論	松尾亮太	2
	発生生物学特論	弓削昌弘	2
	環境自然科学特別演習 III	田村・弓削・松尾	2
	進化遺伝学特論	猪股伸幸	2
	環境生物学特論	(未定)	2
	環境自然科学特別演習 IV	猪股伸幸	2
	生体情報学特論	小早川義尚 (非常勤)	2
	環境自然科学特別講義 I (物質系)	草壁克己 (非常勤)	2
環境自然科学特別講義 II (生命系)	田代康介 (非常勤)	2	
科 目 領 域	栄養学特論	中村 強	2
	栄養学特別演習	中村 強	2
	食品学特論	石川洋哉	2
	食品学特別演習	石川洋哉	2
	調理科学特論	舟木淳子	2
	調理科学特別演習	舟木淳子	2
	生物化学特論	高橋 徹	2
	生物化学特別演習	高橋 徹	2
	栄養生理学特論	柳田晃良 (非常勤)	2
	実践栄養学特論	(未定)	2
	実践栄養学特別演習	(未定)	2
	人体生理学特論	濱田 俊	2
	人体生理学特別演習	濱田 俊	2
	食品衛生学特論	小林弘司	2
	食品衛生学特別演習	小林弘司	2
	臨床栄養学特論	吉住秀之 (非常勤)	2
	臨床栄養学特別演習	吉住秀之 (非常勤)	2
	公衆衛生学特論	太田雅規	2
	公衆衛生学特別演習	太田雅規	2
	運動生理学特論	田中宏暁 (非常勤)	2
国際食流通学特論	新開章司	2	
国際食流通学特別演習	新開章司	2	
臨床栄養師特別研修 I	片桐義範	2	
臨床栄養師特別研修 II	片桐義範	2	
臨床栄養師特別研修 III	片桐義範	2	

環境 マ ネ ジ メ ン ト 領 域	生活環境衛生学特論	(未定)	2
	住環境学特論	森田 健	2
	環境デザイン学特論	庄山茂子	2
	環境マネジメント特別演習Ⅰ	森田・豊貞	2
	生活環境管理学特論	岩崎慎平	2
	環境マネジメント特別演習Ⅱ	庄山・岩崎	2
	環境政策学特論	(未定)	2
	環境経済学特論	嶋田大作	2
	環境マネジメント特別演習Ⅲ	嶋田大作	2
	環境統計学特論	藤野友和	2
	環境情報学特論	藤岡 薫	2
	環境マネジメント特別演習Ⅳ	藤野・藤岡	2
	生活環境生理学特論	前田享史	2
	人間工学特論	豊貞佳奈子	2
	環境エネルギー学特論	谷口育雄 (非常勤)	2
環境マネジメント科学特別講義Ⅰ (環境生活系)	松下美紀 (非常勤)	2	
環境マネジメント科学特別講義Ⅱ (環境政策系)	藤野・藤岡 (薫)・嶋田	2	
基本科目	人間環境科学特論	研究科教員	2
	人間環境科学特別演習	研究科教員	2
研究科 共通科目	国際研究活動	新開・水元・馬・岩崎	2
	国際インターンシップ	水元・新開・馬・岩崎	2
	専門職特別研修	中村・吉村	2
	特別研究 (10単位)	修士論文の指導教員	10

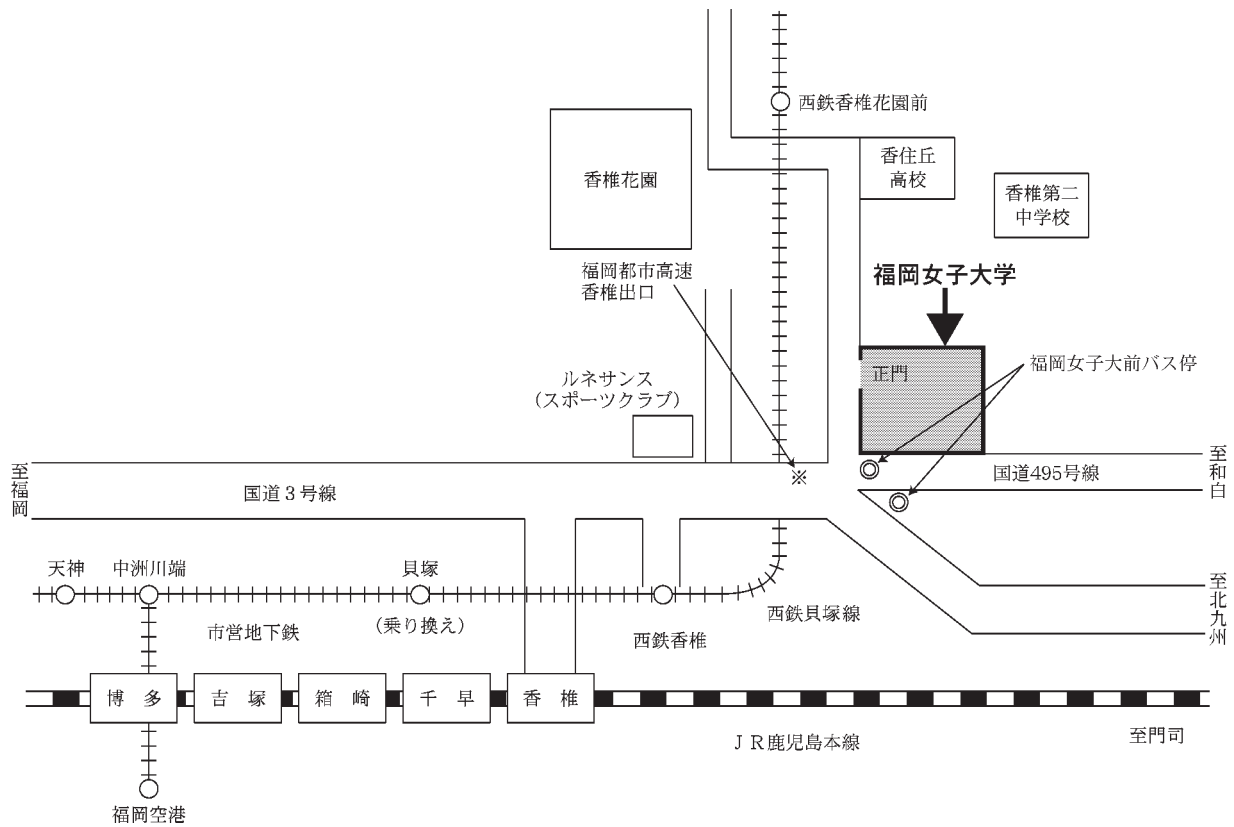
8 研究内容

	研究室	担当教員	主な研究内容
環 境 自 然 科 学 領 域	物理化学	池田宜弘	○界面活性剤の水／空気および水／油界面吸着の熱力学的研究 ○水溶液中における界面活性剤のミセル形成に関する研究 ○吸着膜やミセル中での2種の界面活性剤の混和性に関する研究
	環境エネルギー学	藤岡祐一	○森林バイオマスの有効利用技術の研究 ○CO ₂ を低エネルギーで分離する吸収液に関する研究 ○石炭のガス化および脱硫に関する研究 ○地球温暖化問題の対策技術の研究
	高分子材料学	吉村利夫	○環境調和型高分子材料に関する研究 ○高吸収性高分子材料に関する研究 ○アオサの有効利用に関する研究 ○セルロースの誘導体化に関する研究
	物理学	黒木昌一	○非線形非平衡系の統計力学的研究
	大気環境学	馬 昌珍	○生活環境における大気汚染に関する研究 ○地域及び地球規模の大気環境問題に関する研究 ○大気環境試料の超極微量元素分析に関する研究
	植物生理学	田村典明	○光合成の電子伝達機能の研究 ○機能タンパク質複合体の構築と分解に関する研究 ○植物の環境応答機構の研究
	進化遺伝学	猪股伸幸	○適応進化の遺伝基盤に関する研究 ○生物の系統地理学的研究
	神経生物学	松尾亮太	○神経系の高次機能と可塑性に関する研究 ○神経系の頑健性に関する研究
発生生物学	弓削昌弘	○脊椎動物の初期発生の研究	

	研究室	担当教員	主な研究内容
栄 養 健 康 科 学 領 域	栄養学	中村 強	○各種病態下における食事栄養組成、食品成分による発症抑制・治療効果の探索研究 ○各種経腸栄養、経口栄養の有効性の探索研究
	生体制御学	濱田 俊	○脳に作用する生体分子（ビタミン、神経ペプチドなど）の研究 ○味覚器の形成に関する研究 ○食品に含まれる神経毒の研究
	公衆衛生学	太田雅規	○健康増進活動の効果等、人を対象とした介入研究 ○人における酸化ストレスについての研究 ○食と労働適応能力についての研究
	調理科学	舟木淳子	○食品のテクスチャー、味の改良についての研究 ○プロテアーゼを利用した食品の新規調理性開発 ○ヒトの味覚に影響する物質（甘味誘導物質等）についての研究
	給食経営管理学	片桐義範	○医療施設における栄養管理部門の運営に関する研究 ○入院患者の栄養アセスメントに関する研究 ○栄養サポートチーム（NST）についての研究 ○医療分野における管理栄養士の人材育成についての研究
	臨床栄養学	水元 芳	○生活習慣病予防と治療の栄養管理に関する研究 ○若い女性・妊産婦の BMI とその関連要因に関する研究 ○グローバル化が進む現代の食と健康に関する研究 ○貧困層の栄養不良の二重負荷問題に関する研究
	食品学	石川洋哉	○「おいしさ」と「健康維持」に関わる食品機能の評価・解析 ○天然物・食品成分の抗酸化活性評価に関する研究 ○食品の「香り」評価に関する研究 ○新規低温抽出技術を活用した新たな食品の開発
	栄養生化学	高橋 徹	○糖吸収機序解明に関する研究 ○水吸収機序解明に関する研究 ○咀嚼に関する研究
	食料経済学	新開章司	○食料の生産・流通・消費（フードシステム）に関する研究 ○食料のマーケティングに関する研究 ○農業経営に関する研究 ○地域振興や地域ブランドに関する研究
	食品安全学	小林弘司	○食中毒菌の損傷や回復に関する研究 ○ノロウイルスの検出法の開発に関する研究 ○安全性試験に関する研究

研究室		担当教員	主な研究内容
環境 マ ネ ジ メ ン ト 領 域	住環境学	森田 健	○住環境評価技術に関する研究 ○健康で快適な照明環境に関する研究 ○自然光と人工光の生体影響に関する研究
	環境デザイン学	庄山茂子	○都市空間における景観色彩に関する研究 ○都市空間における屋外広告物の印象評価 ○異なるデザインの医療用・介護用ユニフォームの印象評価
	エコライフスタイル学	豊貞佳奈子	○生活行為のモデル化に関する研究 ○生活行為由来環境負荷量の定量化研究 ○快適性に着目した住宅設備設計に関する研究
	環境生活学	岩崎慎平	○環境情報に基づく人々の態度・行動変容の評価 ○環境資源管理に係る歴史的変遷の解明と当事者の対処行動の分析 ○環境変化に伴う地域コミュニティ問題の評価
	環境情報学	藤野友和	○環境データ、大規模データの統計解析手法および可視化に関する研究 ○政策立案、政策評価のための公的統計データの有効活用に関する研究
	環境数理学	藤岡 薫	○自然環境・社会現象に関する数理モデルの研究
	環境経済学	嶋田大作	○里山の持続可能な管理・利用制度に関する研究 ○自然アクセス制度に関する研究

9 交通案内図



- ◎ JR 香椎駅から徒歩約15分
- ◎ 天神方面からの地下鉄利用は、貝塚駅で西鉄貝塚線乗換え西鉄香椎駅下車
徒歩約13分、西鉄香椎花園前駅下車徒歩約10分
- ◎ 西鉄バス「天神郵便局前」乗車、「福岡女子大前」下車
(天神から約15分【都市高速経由】：下表参照)

系統番号	始発・経由(所要時間)	行先
21A	天神郵便局前(都市高速経由)(15分)	雁の巣レクリエーションセンター
26A	天神郵便局前(都市高速経由)(15分)	赤間営業所
21	天神郵便局前 (30分)	雁の巣レクリエーションセンター・志賀島小学校前
23	西公園 天神郵便局前 (30分)	高美台1丁目・大蔵・西鉄三苦駅・香椎 花園・新宮緑ヶ浜 (下原行は福岡女子大前に停車しないので注意)
26	天神郵便局前 (30分)	赤間営業所

[注意] JR 香椎駅には停車しない特急列車もあるので注意すること。

(付) 平成29年度福岡女子大学大学院 人間環境科学研究科修士課程 学 生 募 集 要 項

1 募集人員

専攻	募集人員（夏季試験・春季試験合計）	
	一般選抜	社会人選抜・外国人留学生選抜・自己推薦選抜
人間環境科学	12名	若干名（12名に含む。）

上記募集人員は、一般選抜、社会人選抜、外国人留学生選抜、自己推薦選抜の合計である。

2 出願資格

- (1) 次の各号の一に該当する女子が出願できる。
- ① 大学を卒業した者及び平成29年3月卒業見込みの者（学校教育法第102条）
 - ② 大学評価・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び平成29年3月までに授与される見込みの者（学校教育法施行規則第155条第1項第1号）
 - ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者（学校教育法施行規則第155条第1項第2号）
 - ④ 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者（学校教育法施行規則第155条第1項第3号）
 - ⑤ 我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学日本校）を修了した者（学校教育法施行規則第155条第1項第4号）
 - ⑥ 指定された専修学校の専門課程を修了した者（学校教育法施行規則第155条第1項第5号）
 - ⑦ 旧制学校等を修了した者（昭和28年文部省告示第5号第1号～第4号、昭和30年文部省告示第39号第1号）
 - ⑧ 防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者（昭和28年文部省告示第5号第5号～第12号、昭和30年文部省告示第39号第2号）
 - ⑨ 本研究科において個別の入学資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成29年4月1日までに22歳に達するもの（学校教育法施行規則第155条第1項第8号）
- ※ 上記⑨の出願資格で出願する者は事前審査を行うので、14ページの「出願資格の事前審査について」を参照すること。
- (2) 社会人選抜に出願できる者は、平成29年3月31日までに大学卒業後2年以上経過する女子。
- (3) 外国人留学生選抜に出願できる者は、日本国外において12年の課程を修了して上記出願資格の①～⑨のいずれかに該当する日本の国籍を有しない女子で、かつ、独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験の「日本語」を受験したか、またはそれに準ずる証明書を提出できるもの。国費外国人留学生及び外国政府派遣留学生は、日本語能力に関する書類の提出を免除する。
- (4) 上記(2)、(3)に該当する者であっても、一般選抜に出願することは可能だが、一般選抜、社会人選抜、外国人留学生選抜の併願はできない。

3 試験日

夏季試験 平成28年8月6日(土) ただし、自己推薦選抜は平成28年7月9日(土)に実施

春季試験 平成29年3月4日(土)

※春季試験においては、自己推薦選抜は実施しない。

4 試験場

福岡女子大学

交通機関については、10ページを参照すること。

5 試験日程・試験科目

人 間 環 境 科 学 専 攻			
試験区分	専門科目 (各領域の専門科目の 内容は下記*参照)	英 語 (辞書持込可・ただし 電子辞書は不可)	面 接
一般選抜	10：00～11：30	13：00～14：30	15：00～
社会人選抜			
外国人留学生選抜			
自己推薦選抜			13：00～

* 専門科目の選択

次の科目の中から出願時に一般選抜の場合は2科目、社会人選抜・外国人留学生選抜の場合は1科目をそれぞれ選択すること。ただし、そのうちの1科目は志望研究室に対応する科目を以下の表を参考に選択すること。

	研 究 室	担 当 教 員	受 験 科 目
環境自然科学 領域	物理化学	池田宜弘	物理化学
	環境エネルギー学	藤岡祐一	無機化学
	高分子材料学	吉村利夫	高分子化学
	物理学	黒木昌一	物理学
	大気環境学	馬 昌珍	環境分析化学
	植物生理学	田村典明	植物生理学
	進化遺伝学	猪股伸幸	遺伝学
	神経生物学	松尾亮太	神経科学
栄養健康科学 領域	発生生物学	弓削昌弘	発生生物学
	栄養学	中村 強	栄養学
	生体制御学	濱田 俊	解剖生理学
	公衆衛生学	太田雅規	公衆衛生学
	調理科学	舟木淳子	調理科学
	食品学	石川洋哉	食品学
	栄養生化学	高橋 徹	生物化学
	食料経済学	新開章司	食料経済学
環境マネジメ ント領域	食品安全学	小林弘司	食品衛生学
	住環境学	森田 健	住環境学
	エコライフスタイル学	豊貞佳奈子	人間工学
	環境デザイン学	庄山茂子	環境デザイン学
	環境生活学	岩崎慎平	環境生活学
	環境情報学	藤野友和	統計学
	環境数理学	藤岡 薫	情報数学
環境経済学	嶋田大作	環境経済学	

6 出願期間

夏季試験 平成28年7月4日（月）～7月8日（金）17時まで必着

春季試験 平成29年1月16日（月）～1月20日（金）17時まで必着

7 出願手続

入学志願者は、次の書類を上記「6 出願期間」の期間内に本学学務部教務企画班に提出すること。

出願書類を郵送するときは、必ず書留速達とし、封筒表面に「大学院人間環境科学研究科入学願書」と朱書きすること。

提出された出願書類及び納入金は原則として返還しない。

出願書類の不備なものは受理しない。

(1) 入学願書

本募集案内にある「福岡女子大学大学院人間環境科学研究科入学願書（修士課程）」

(2) 成績証明書

出身大学の成績原簿の写しまたはそれに相当する単位取得を証明するもの

(3) 研究希望調書

本募集案内に添付の「研究希望調書」

なお、研究希望調書の作成にあたっては志願者の希望する本学の研究室の担当教員と事前に協議すること。協議をするに当たっては、まず福岡女子大学代表電話（092-661-2411）に電話をし、本募集要項の12ページ「*専門科目の選択」一覧表に掲載している研究室担当教員を告げる。ただし、電話を受け付けるのは、土、日、祝日以外の9時から16時までとする。

(4) 最終学校の卒業（修了）（見込）証明書

ただし、2 出願資格(1)の②に該当する者のうち、すでに学位を授与された者は学位記の写し、授与見込みの者は、当該者が在籍する短期大学等専攻科の修了見込証明書及び学位を申請する予定である旨の証明書を提出すること。

(5) 入学考査料

入学考査料は30,000円。（銀行窓口での振込「電信扱」に限る。）納入後は、原則として返還しない。本募集案内最終のページの入学考査料振込依頼書を切り離し、太枠で囲まれている記入欄に、必要事項をすべて黒ボールペンで正確・明瞭に記入し、A・B・C票を切り離さず銀行へ持参してください。ただし、振込手数料は、志願者に負担していただくことになります。

振込の後、銀行窓口でご返還されたB・C票のうち、C票（「福岡女子大学（大学院）」入学考査料振込金受付証明書）を、入学願書の裏面の入学考査料振込金受付証明書貼付欄に貼ってください。

(6) 写真2枚

たて4cm×よこ3cm、正面、上半身、無帽、出願期間以前3ヶ月以内に撮影した写真2枚を、それぞれ入学願書、受験票に貼付すること。

(7) 受験票返信用封筒

返信用封筒（長形3号120mm×235mm）に宛先、郵便番号を明記し、82円切手を貼付すること。

(8) 受験許可書（社会人及び現職教員等のみ）

本募集案内にある「受験許可書」。会社及び官公庁・教育機関等に勤務している者で現職のまま入学しようとする者は、本学大学院の受験についての所属長の許可書を提出すること。

(9) 日本留学試験の「日本語」成績通知書（外国人留学生選拔出願者のみ）

通知書等の写しを提出すること。

※ なお、外国人留学生で、上記書類が外国語表記の場合は和訳文を添付すること。

◎ 出願資格の事前審査について

11ページ「2 出願資格(1)-⑨」により出願しようとする者についての「大学を卒業した者と同等以上の学力」の認定及び自己推薦選抜の受験認定は、次により行う。なお、必要がある場合は面接を行う。

1 提出書類

書類等	摘要
ア 修士課程 入学者選抜出願資格認定申請書	(「2 出願資格(1)-⑨」の場合) 本募集案内に添付されている「2 出願資格(1)-⑨」による入学者選抜出願資格認定申請書 ----- (「自己推薦選抜」の場合) 本募集要項に添付されている「入学者選抜出願資格認定申請書(自己推薦選抜用)」
イ 「7 出願手続」に定める書類 (但し入学考査料を除く)	本募集要項の「7 出願手続」に定める書類 (入学考査料は提出しないこと)

上記ア及びイは、一括して提出すること。なお、郵送する場合は必ず書留速達とし、封筒表面に「出願書類及び出願資格認定申請書在中」と朱書きすること。

2 提出期間

夏季試験 平成28年6月20日(月)～6月24日(金) 17時まで必着

春季試験 平成28年12月12日(月)～12月16日(金) 17時まで必着

3 認定の結果

認定の結果は次の期日までに本人に郵便または電話で通知する。

夏季試験 平成28年7月1日(金)

春季試験 平成29年1月13日(金)

※認定された者は、13ページ「6 出願期間」の期間内に「7 出願手続 (5)入学考査料」に記載する方法により入学考査料を納入すること。

8 合格発表

合格発表は下記のとおりである。

夏季試験 平成28年8月12日(金)

春季試験 平成29年3月10日(金)

14時頃、本学正門横掲示板に掲示するとともに、合格者には本人あてに郵便で通知する。

なお、本学のホームページにおいても合格者の受験番号を掲載する。ただし、公式の合格発表については、必ず本学掲示板又は合格通知書で確認すること。電話による合否の問い合わせは一切受け付けない。

9 入学手続

(1) 入学手続期間

夏季試験合格者 平成29年2月6日(月)～2月10日(金) 17時まで

春季試験合格者 平成29年3月15日(水)～3月21日(火) 17時まで

(郵送の場合は、必ず書留速達とし、夏季試験合格者は2月10日(金) 17時までに、春季試験合格者は3月21日(火) 17時までに必着のこと)

持参の場合は、いずれも受付時間は9時から17時までとする。土日、祝日は、行わない。

上記期間中に手続を完了しない場合は、入学を辞退したものとして取り扱う。

国費外国人留学生及び外国政府派遣留学生の入学手続時期は、福岡女子大学学務部教務企画班に相談すること。

(2) 提出書類

① 誓約書(本研究科所定のもの、合格通知書と同封して郵送する。)

② 住民票(外国人の志願者は市町村長発行の在留資格及び在留期間を明記した「住民票」※出願者以外の世帯員については、証明不要)

③ 外国人で入学許可が出国の条件となっている国外志願者については、外務省在外公館又は日本国政府の承認した外国政府その他の発行する留学資格証明書・紹介状・推薦書等

④ その他必要書類等は、合格通知とともに通知する。

(3) 納入金（平成28年度の額であり、一部変更になる場合がある。）

入学料 県内の者 282,000円

県外の者 520,000円

授業料 前期分 267,900円（年額535,800円）

※ 入学手続では入学料のみの納入となります。

※ 入学料について「県内の者」とは、(ア)入学しようとする者の生計の主たる維持者が入学しようとする年の前年の3月1日から入学許可の日まで引き続き福岡県内に居住している者、(イ)入学しようとする者の生計の主たる維持者が勤務等の事由により県外居住者であっても、入学者を含む家族の大半が(ア)に掲げる期間中福岡県内に居住している者をいう。

「県外の者」とは、上記以外の者をいう。

※ 在学中に授業料の額の改定が行われた場合には、改定後の授業料の額が適用されます。

(4) 入学手続場所

福岡女子大学学務部教務企画班 〒813-8529 福岡市東区香住ヶ丘1丁目1番1号

TEL (092)661-2417

(5) その他不明な点は、下記まで問い合わせること。

福岡女子大学学務部教務企画班 〒813-8529 福岡市東区香住ヶ丘1丁目1番1号

TEL (092)661-2417

◎ 外国人留学生への支援制度

外国人留学生として本学大学院に入学した者（県外の者に限る。）には、その入学試験時の成績等により、入学金が半額となる制度および、入学後の研究計画書の内容と面接により、授業料が半額となる制度があります。また、本学に設置されている学生寮に入寮することもできます。（ただし、入寮できる人数には限りがあります。）

※試験結果の開示

試験結果を本人に限り、本学学務部教務企画班において開示します。期間は、夏季試験に関しては平成28年8月29日（月）から9月27日（火）まで。春季試験に関しては、平成29年4月10日（月）から5月9日（火）まで。ただし、いずれも9時から17時までで（正午から13時までは昼休みです）、土、日、祝日は開示を行いません。

開示を申請する際には、本大学院入試の受験票を持参してください。

平成29年度

福岡女子大学大学院人間環境科学研究科入学願書（修士課程）

志望専攻名	人間環境科学専攻		
試験区分	一般選抜・社会人選抜・外国人留学生選抜・自己推薦選抜（いずれか一つを○で囲むこと。）		
フリガナ		受験番号	※記入しないこと。
氏名		番号	
生年月日	昭和・平成	年（西暦	年）月日
現住所	〒 電話（ ） —		
保証人氏名（続柄）	住所 〒	電話（ ） —	
年月	履歴事項（高等学校卒業から記入すること。職歴を含む。外国人留学生については小学校から記入）		
・		写真貼付欄 写真は たて4cm の よこ3cm の 大きさ 正面上半身無帽で 出願前3ヶ月以内に 撮影したもの	
・			
・			
・			
・			
・			
・			
合格通知の受信場所	〒	電話（ ） —	

----- 切り取らないこと -----

平成29年度

福岡女子大学大学院人間環境科学研究科受験票（修士課程）

志望専攻名	人間環境科学専攻		
試験区分	一般選抜・社会人選抜・外国人留学生選抜・自己推薦選抜（いずれか一つを○で囲むこと。）		
フリガナ		写真貼付欄 写真は たて4cm の よこ3cm の 大きさ 正面上半身無帽で 出願前3ヶ月以内に 撮影したもの	◎ 裏面参照のこと
氏名			
受験番号	※記入しないこと。		

入学考査料振込金受付
証明書貼付欄

※事前審査により自己推薦選抜の認定を受けなかった者または自己推薦選抜試験に合格しなかった者が、夏季一般選抜試験を受験する場合、上の証明書貼付欄は空欄のまま本願書に必要事項を記入し、あらためて出願すること。
(ただし、提出書類は本願書のみでよい。)

試験日 夏季試験 平成28年8月6日(土)※
春季試験 平成29年3月4日(土)

人間環境科学専攻 一般選抜・社会人選抜・外国人留学生選抜→専門科目、英語、面接を課す。 自己推薦選抜→面接を課し、専門科目は課さない。							<u>受験上の注意</u> 1 この受験票は試験当日必ず携帯し、試験室では机上に置くこと。 2 やむを得ない理由で遅刻した場合は、30分以内であれば受験を認める。 3 試験開始後30分を経過すれば退室を認める。 4 英語については、辞書持ち込み可能(電子辞書は不可)。	
専攻	試験区分	入室	専門科目	入室	英語	入室	面接	
人間環境科学専攻	一般選抜							
	社会人選抜	9:50	10:00~11:30	12:50	13:00~14:30	14:50	15:00~	
	外国人留学生選抜							
	自己推薦選抜	/			/		12:50	13:00~

※自己推薦選抜 平成28年7月9日(土)

研究希望調書

平成29年度入試用
福岡女子大学大学院人間環境科学研究科

氏名	志望領域	※1	受験番号	※2
	志望研究室			
受験する選抜の区分 (該当する一つを○で囲むこと。)		一般選抜・社会人選抜・外国人留学生選抜・自己推薦選抜		
※3 受験希望専門科目	第1希望科目	第2希望科目		
志望の動機 (これまで行って来た卒業研究等の内容についても記載して下さい。)				
研究希望課題				
希望する研究の内容				

- ※1の「志望研究室」欄は、本募集要項の12ページの「*専門科目の選択」一覧の研究室から1つ選択して記入すること。
- ※2の「受験番号」欄は記入しないこと。
- ※3の「受験希望専門科目」において、受験する選抜区分が「一般選抜」の受験者は、「第1希望科目」欄には、志望研究室に対応する科目を、「第2希望科目」欄には選択する2つ目の科目を記入すること。また、「社会人選抜」または「外国人留学生選抜」の受験者は、「第1希望科目」欄に志望研究室に対応する科目を記入すること。自己推薦選抜の出願者で一般選抜を併願するものは、この欄にも記入すること。
- パソコン等で印書したものを糊付けした場合は、複写したものを提出すること。
- この研究希望調書を作成するにあたり、福岡女子大学の志望研究室の担当教員と事前に協議するのが望ましい。協議の方法は、本募集要項の13ページの「7 出願手続 (3)研究希望調書」の欄を参照すること。

受験許可書

福岡女子大学長 殿

受験者氏名 _____

生年月日 _____

上記の者が、平成29年度福岡女子大学大学院人間環境科学研究科修士課程の
入学試験を受験することを許可します。

西暦 年 月 日
(平成 年)

所属機関等住所及び電話番号

〒

電話番号

所属機関等名

所属長名

_____ 印

2 出願資格(1)-⑨による入学者選拔出願資格認定申請書

福岡女子大学長 殿

平成29年度福岡女子大学大学院人間環境科学研究科修士課程に出願したいので、
事前審査をお願いします。

西暦 年 月 日
(平成 年)

氏 名

印

住 所

〒

最終卒業（修了）機関名

卒業（修了）年月日

年 月 日

入学者選拔出願資格認定申請書（自己推薦選抜用）

福岡女子大学長 殿

平成29年度福岡女子大学大学院人間環境科学研究科修士課程人間環境科学専攻の「自己推薦選抜」に出願したいので、事前審査をお願いします。

西暦 年 月 日

(平成 年)

氏名 _____ ㊟

自己推薦状

○ TOEIC または TOEFL のスコアの写しを添付すること。

